

K4-A3342-AL91

第1版 2008年3月14日

第2版 2008年7月31日

第3版 年 月 日

取 扱 説 明 書  
計 数 プ リ ソ タ  
C P - 9 0 0 - C 1 4

U i

---

ユーアイニクス株式会社  
大阪府堺市西区上123-1  
TEL 072-274-6001  
〒593-8311 FAX 072-274-6005

---

## 目 次

1.	概要	1
2.	構成と動作	1
2-1.	構成図	1
2-2.	入力回路	1
2-3.	計数パルス	2
2-4.	積算と演算	2
2-4-1.	積算	2
2-4-2.	演算	3
2-5.	入力数の決定	3
2-6.	電源ON/OFFのプリント	3
2-7.	プリント例	4
2-7-1.	小計のプリント	4
2-7-2.	小計、日報、月報のプリント	4
2-7-3.	電源関係のプリント	5
2-8.	動作設定スイッチ	6
3.	保証	7
4.	仕様	7
4-1.	時計	7
4-2.	信号入力	7
4-3.	計数パルス	7
4-4.	制御入力	8
4-5.	プリント機構	8
4-6.	電池	8
4-7.	環境	8
4-8.	電源	8
5.	付属品	9
6.	端子台	10
6-1.	信号割当表	10
6-2.	結線図	10
7.	使用法	11
7-1.	背面スイッチの設定	11
7-2.	外部結線	11
7-3.	電源ON時の動作	11
7-4.	手動制御スイッチ	11
7-4-1.	スイッチの種類	11
7-4-2.	S3が「測定」時の動作	11
7-4-3.	時刻設定	12
7-4-4.	入力数、係数、小数桁数の設定	12
7-4-5.	日報、月報日時の設定	14
7-5.	プリント用紙	15
7-6.	インクカートリッジの交換	15
7-7.	電池の交換	15
8.	外観図	16

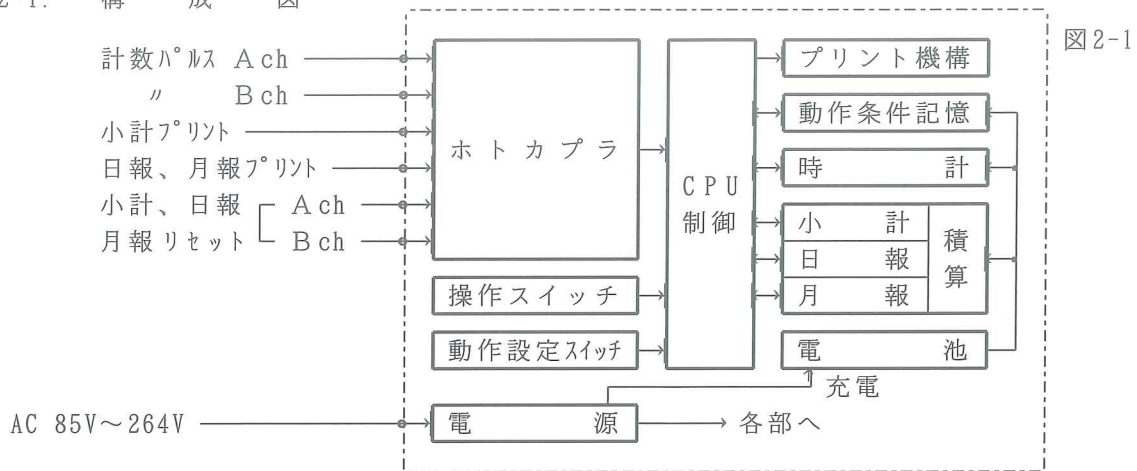
# 1. 概要

本器は各種発信器からのパルス信号を受けて積算し、小計、日報、月報を時刻(年月日時分)と共にプリントします。

電源はAC 100V/AC 200V共用で、停電の時は内蔵電池で積算値と設定値を保護し、時計を動作します。

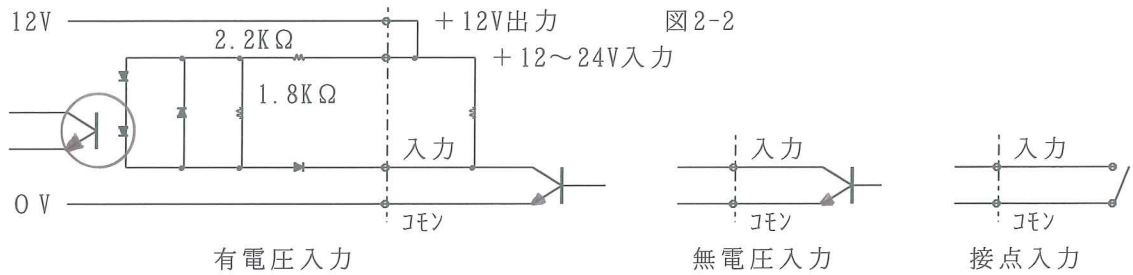
# 2. 構成と動作

## 2-1. 構成図



## 2-2. 入力回路

1. 図2-2の様にホトカプラで内部回路と絶縁して有ります。
2. オープンコレクタ、無電圧接点、又は有電圧信号で制御できます。



3. 内部電源を使用するときは、+12V出力と+12V~24V入力を結線します。
4. 外部電源を使用するときは、+12V~24V入力に供給します。
5. 上記の入力回路なので、シーケンサの出力にも対応できます。

2-3. 計数パルス

1. 入力 Ach

- 1) 20 ヘルズ/秒、最大
- 2)  $t = 50\text{ms}$ 以上  $t_{\text{ON}} = 25\text{ms}$ 以上  
 $t_{\text{OFF}} = 25\text{ms}$ 以上

2. 入力 Bch

S2-3で下記を選択します。

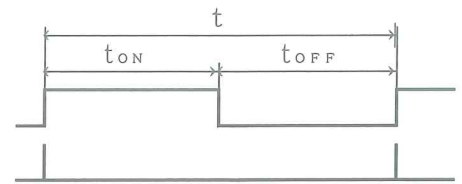
- 1) S2-3 OFF  
2,000 ヘルズ/秒、最大  
 $t = 0.5\text{ms}$ 以上  $t_{\text{ON}} = 0.25\text{ms}$ 以上  
 $t_{\text{OFF}} = 0.25\text{ms}$ 以上
- 2) S2-3 ON  
20 ヘルズ/秒、最大  
 $t = 50\text{ms}$ 以上  $t_{\text{ON}} = 25\text{ms}$ 以上  
 $t_{\text{OFF}} = 25\text{ms}$ 以上

- 3. 計数ヘルズの最大計数速度は Achが20 ヘルズ/秒、Bchが20 ヘルズ/秒と2000 ヘルズ/秒をS2-3で選択できます。

なお、入力Bchを2000 ヘルズ/秒で使用する場合は雑音混入による誤計数防止のため、シールド線を使用して下さい。

図2-3

計数ヘルズ ON  
カウント



2-4. 積算と演算

2-4-1. 積算

1. 小計積算

- 1) 桁数：8桁  
99999999、0、1、2・・・と積算します。
- 2) 小計プリント：下記の時に演算結果をプリントします。
  - ① 自動プリント：S1-2 ONのとき、S1-5～S1-8の時刻
  - ② 外部プリント：小計プリント入力ONのとき
- 3) リセット：下記の時にリセットします。
  - ① 小計をプリントしたとき
  - ② 小計、日報、月報リセット入力をONしたとき、入力AchとBchを別々にリセットします。

2. 日報積算

- 1) 桁数：8桁  
99999999、0、1、2・・・と積算します。
- 2) 日報プリント：下記の時に演算結果をプリントします。
  - ① 自動プリント：S1-2 OFFのとき、S1-5～S1-8の時刻
  - ② 外部プリント：日報、月報プリント入力ONのとき
- 3) リセット：下記の時にリセットします。
  - ① 日報プリント時刻のプリント後(7-4-5.項参照)
  - ② 小計、日報、月報リセット入力をONしたとき、入力AchとBchを別々にリセットします。

3. 月報積算

- 1) 桁数：8桁  
99999999、0、1、2・・・と積算します。
- 2) 月報プリント：下記の時に演算結果をプリントします。
  - ① 自動プリント：S1-2 OFFのとき、S1-5～S1-8の時刻
  - ② 外部プリント：日報、月報プリント入力ONのとき
- 3) リセット：下記の時にリセットします。
  - ① 月報設定日の日報プリント時刻のプリント後(7-4-5.項参照)
  - ② 小計、日報、月報リセット入力をONしたとき、入力A chとB chを別々にリセットします。

2-4-2. 演算

7-4-4. 項参照

1. 下記の演算結果をプリントします。なお、プリントは8桁以内で、それを越える部分は切捨てます。  
プリント値 = 積算値 × K1 × K2

2. 係数

各入力ごとに下記が設定できます。

- ・ K1 = 0.000～9.999
- ・ K2 = 1、10、100、1000

3. 小数の桁数

プリントする小数の桁数はD.P設定により0～3桁が選択できます。

4. プリント例：小数桁数、D.P=2桁の場合

$$\begin{aligned} \text{演算結果} &= \text{積算値} \times K1 \times K2 \\ 67030.88 &= 5432 \times 1.234 \times 10 \end{aligned}$$

$$670.30 = \text{プリント値}$$

演算結果の小数点以下を切捨てた部分を有効数字とし、D.P桁数の設定位置に小数点をプリントします。

2-5. 入力数の決定

1. 「K1=0.000」を設定すると、その入力は積算、プリント共にしません。
2. 1入力で使用する場合は、K1の設定で入力A ch、又はB chを選択して下さい。

2-6. 電源ON/OFFのプリント

S2-2をONしておくと停電(電源OFF)時刻を記憶し、復電(電源ON)時に復電時刻と共にプリントします。

2-7. プリント例

2-7-1. 小計のプリント

1. 2入力の場合

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

2008年10月25日 16時00分 シトウ			
R	小ケイ	Ach	123.45 m <sup>3</sup>
		Bch	876.5 m <sup>3</sup>
2008年10月25日 16時47分 カイフ			
R	小ケイ	Ach	31.09 m <sup>3</sup>
		Bch	258.1 m <sup>3</sup>

図2-7A

- 自動プリント：S1-2 ONのとき、S1-5～1-8の時刻にプリント  
プリント後に小計をリセットする(小計の頭にRをプリント)
- スペース
- 小計プリント入力ONのとき  
プリント後に小計をリセットする(小計の頭にRをプリント)
- スペース

2. 1入力の場合(2-5.項参照)

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

2008年10月25日 16時00分 シトウ		
R	小ケイ	876.5 m <sup>3</sup>
2008年10月25日 16時47分 カイフ		
R	小ケイ	258.1 m <sup>3</sup>

図2-7B

- 自動プリント：S1-2 ONのとき、S1-5～1-8の時刻にプリント  
プリント後に小計をリセットする(小計の頭にRをプリント)
- スペース
- 小計プリント入力ONのとき  
プリント後に小計をリセットする(小計の頭にRをプリント)
- スペース

2-7-2. 小計、日報、月報のプリント

1. 2入力の場合

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

2008年10月31日 23時13分 カイフ			
R	小ケイ	Ach	43.21 m <sup>3</sup>
		Bch	456.7 m <sup>3</sup>
	日ホウ	Ach	234.56 m <sup>3</sup>
		Bch	2334.5 m <sup>3</sup>
	月ホウ	Ach	2345.67 m <sup>3</sup>
		Bch	998776.7 m <sup>3</sup>
2008年10月31日 23時13分 カイフ			
	日ホウ	Ach	234.56 m <sup>3</sup>
		Bch	2334.5 m <sup>3</sup>
	月ホウ	Ach	2345.67 m <sup>3</sup>
		Bch	998776.7 m <sup>3</sup>
2008年10月31日 24時00分 テイジ			
R	小ケイ	Ach	44.32 m <sup>3</sup>
		Bch	1575.5 m <sup>3</sup>
R	日ホウ	Ach	278.88 m <sup>3</sup>
		Bch	3909.9 m <sup>3</sup>
R	月ホウ	Ach	2402.31 m <sup>3</sup>
		Bch	1234567.8 m <sup>3</sup>

図2-7C

- ・小計プリント入力、日報月報プリント入力を同時ONのとき
- ・プリント後に小計のみリセットする(小計の頭にRをプリント)
- スペース
- ・日報、月報プリント入力ONのとき
- ・S1-2 OFFの時、S1-5～S1-8の時刻  
日時末尾は「シトウ」となる
- ・日報、月報共にリセットしない
- スペース
- ・日報時刻にプリントする
- ・プリント後に小計と日報をリセットする(頭にRをプリント)
- ・月報日のプリント後に月報をリセットする(頭にRをプリント)
- スペース

2. 1 入力の場合 (2-5. 項参照)

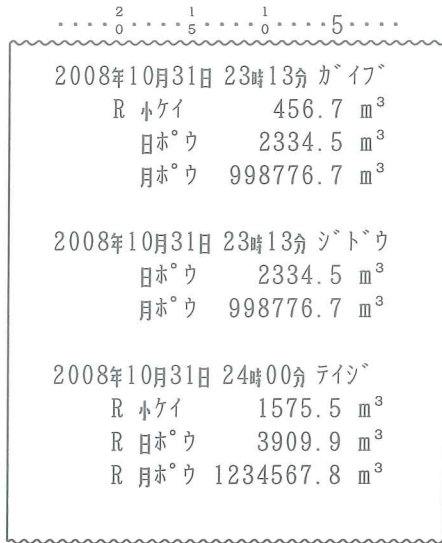


図 2-7D

- ・ 小計プリント入力、日報月報プリント入力を同時ONのとき
- ・ プリント後に小計のみリセットする(頭にRをプリント)
- スペース
- ・ 日報、月報プリント入力ONのとき
- ・ S1-2 OFFの時、S1-5～S1-8の時刻(末尾は「シトウ」)
- ・ 日報、月報共にリセットしない
- スペース
- ・ 日報時刻にプリントする
- ・ プリント後に小計と日報をリセットする(頭にRをプリント)
- ・ 月報日のプリント後に月報をリセットする(頭にRをプリント)
- スペース

2-7-3. 電源関係のプリント

1. 電源ON/OFFのプリント

S2-2 ONで電源をONした場合、時計が正常の時にプリントします。

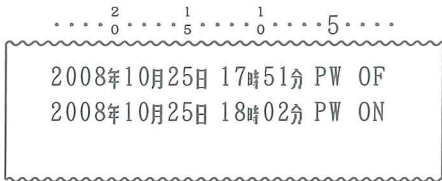


図 2-7E

- 停電日時を記憶し、復電(電源ON)時にプリントする
- 復電日時
- スペース

2. 時計異常時のプリント

電源ON時に時計の内容が無いとプリントします。

時計は00年01月01日00時00分00秒から歩進し、小計、日報、月報共に0になります。

また、係数等の設定値は初期値になるので、再設定して下さい。(7-4. 項参照)



図 2-7F

- 時計及びメモリ異常
- スペース

2-8. 動作設定スイッチ

1. 電源ONの時にスイッチの状態を見るので、変更は電源OFFで行って下さい。

2. SW 1

1) 文字方向 ◎印：出荷時の設定

	設定	動作	
S1-1	ON	倒立文字：切取ると古いデータが上方	◎
	OFF	正立文字：切取ると古いデータが下方	
S1-2	ON	S1-5～1-8による自動プリント内容：小計	◎
	OFF	” : 日報、月報	

2) 単位文字

入力A ch、B ch共に同じ文字をプリントします。

単位文字はオプションでROMを交換すると、3文字以内で指定文字に変更できます。

S1-4	S1-3	単位文字	S1-4	S1-3	単位文字
OFF	OFF	無し	ON	OFF	Q
OFF	ON	m <sup>3</sup> ◎	ON	ON	m

3) 自動プリント間隔

0時を基準に下記間隔で、S1-2の内容を自動プリントします。

なお、プリント機構の寿命の関係で、短い間隔のプリントは短時間の使用に限って下さい。

S1-8	S1-7	S1-6	S1-5	プリント間隔	S1-8	S1-7	S1-6	S1-5	プリント間隔
OFF	OFF	OFF	OFF	30 秒	ON	OFF	OFF	OFF	2 時間
OFF	OFF	OFF	ON	1 分	ON	OFF	OFF	ON	3 ”
OFF	OFF	ON	OFF	2 ”	ON	OFF	ON	OFF	4 ”
OFF	OFF	ON	ON	5 ”	ON	OFF	ON	ON	6 ”
OFF	ON	OFF	OFF	10 ”	ON	ON	OFF	OFF	8 ”
OFF	ON	OFF	ON	20 ”	ON	ON	OFF	ON	12 ”
OFF	ON	ON	OFF	30 ”	ON	ON	ON	OFF	24 ”
OFF	ON	ON	ON	1 時間 ◎	ON	ON	ON	ON	自動プリント無

3. SW 2

1) 電源同期

	設定	動作	
S2-1	ON	電源同期：50Hz	
	OFF	” : 60Hz	◎
S2-2	ON	電源ON/OFF日時のプリント：有	◎
	OFF	” : 無	
S2-3	ON	入力B chのカウント周波数：20ヘルズ/秒最大	◎
	OFF	” : 2000 ”	
S2-4	/	使用不能	



### 3. 保 証

納入後1年以内に発生した設計及び製造上に起因する故障の時は、無償で修理、交換または部品を供給します。但し、現品の受渡しは輸送等によるものとし、現地サービスは除きます。

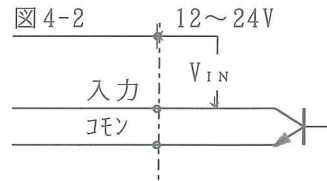
### 4. 仕 様

#### 4-1. 時 計

- 1. 時 計 99年12月31日23時59分59秒まで
- 2. 時 刻 表 示 無し：プリントして確認する
- 3. 秒 表 示 1秒で点滅する（紙送りスイッチの赤色LED）
- 4. 年 号 西暦下2桁、平成年号共に2,099年まで自動更新する
- 5. 時 間 基 準
  - 1. 水晶発振器
  - 2. 日 差：4秒以下／0～40℃  
参考値：約0.5秒／25±3℃
- 6. 時 刻 設 定 各桁を+1または-1して合わせる（7-4.項参照）
- 7. 時計の電源同期 S2-1を電源周波数と同じ50又は60Hzにする
  - 1) 電源周波数同期 商用電源で同期すると、短時間では±0～5秒程度で変動するが、長時間経過しても誤差が積算されない
  - 2) 電源同期禁止
    - 1. 自家発電の時は誤差が増えるので同期しないこと
    - 2. 端子A8～A12間の結線を外す（6-2.4.項参照）

#### 4-2. 信 号 入 力

- 1. 入 力 回 路 2-2.項参照
- 2. 入 力 定 格
  - 1. ON電圧  $V_{IN} = 10V$ 以上
  - 2. OFF電圧  $V_{IN} = 4V$ 以下



#### 4-3. 計 数 パ ル ス

- 1. 計数パルス、A ch
  - 1. 20パルス／秒最大
  - 2. 入力ON、OFF時間：25ms以上
- 2. 計数パルス、B ch
  - 1. S2-3 ON：20パルス／秒最大  
入力ON、OFF時間：25ms以上
  - 2. S2-3 OFF：2000パルス／秒最大  
入力ON、OFF時間：0.25ms以上

#### 3. 積 算 桁 数

#### 4. 演 算

- 8桁：小計、日報、月報共に
- 下記の演算結果に小数点を付けてプリントする（2-4.、7-4-4.項参照）
  - 1. プリント値 = カウント値 × K1 × K2
  - 2. K1 = 0.000～9.999  
K2 = 1、10、100、1000
  - 3. プリント値：8桁（プリント範囲外は切捨てる）

4-4.	制 御 入 力	
1.	プ リ ン ト 入 力	入力ONで指令する
1)	小 計	小計をプリントしてリセットする
2)	日 報、月 報	日報、月報をプリントし、リセットしない
3)	上記の同時ON	小計、日報、月報をプリントし、小計のみリセットする
2.	リ セ ッ ト 入 力	入力ONで指令する
1)	リセット入力、A ch	入力A chの小計、日報、月報をリセットする
2)	リセット入力、B ch	入力B chの小計、日報、月報をリセットする
3.	同 時 O N	プリントとリセット入力を同時にONすると、プリント後にリセットする
4-5.	プ リ ン ト 機 構	
1.	機 構 部	M 1 8 0 (EPSON)
2.	プ リ ン ト 方 式	5 × 7ドット、インクリボンで普通紙にプリント
3.	文 字 サ イ ズ	幅 1.8 mm × 高 2.5 mm
4.	桁 数	24桁
5.	速 度	1行/約0.7秒：プリント、紙送り共
6.	寿 命	100万行以上(交換は容易)
7.	プ リ ン ト 用 紙	1. 幅 58 mm × 長 22 m、ロール紙 2. 約 6000 行/巻 3. M 1 8 0 用プリント用紙(システムアーツ製)
8.	リボンカセット	1. 黒色、ERC-22B (EPSON) 2. 約 100 万文字(交換は容易)
9.	紙 無 表 示	用紙の残り 1 m程度で赤色マークが見えるので早目に交換のこと
4-6.	電 池	
1.	保 護 対 象	停電のときに時計を動作し、各カウンタと係数の設定値を保護する
2.	種 類	リチウム電池、ER3VC(東芝電池製)
3.	動 作 時 間	約7年間：AC電源の供給無しで
4.	長 期 保 存 特 性	非使用時の容量残は、10年で約90%
5.	交 換 時 期	1. 常時AC電源で動作する場合は交換不要と思われる。 2. 定期交換の場合は、4, 5年を目安とする。
6.	付 属 電 池	1. 長寿命なので付属品にしていない。 2. 必要な場合は、交換に先立って御購入下さい。
4-7.	環 境	
1.	使 用	0 ~ 40 °C、20~90% RH(結露しないこと)
2.	保 存	-20~50 °C、90% RH以下( )
4-8.	電 源	
1.	入 力	AC 85V~264V、50/60Hz、約15VA
2.	耐 圧	電源入力~筐体間：AC 1.5KV、1 分間
3.	絶 縁	電源入力~筐体間：DC 500V、20MΩ以上

## 5. 付 属 品

1. 書	類	1. 取扱説明書		1 *1
		2. 検査成績書		1
2. 部	品	1. 電源ケーブル	1.5m	1
		2. プリント用紙		2 *2
		3. インクカートリッジ		1 *2
		4. 取付金具		2

\*1：初回、及び 変更時に付属します。

\*2：試験用程度の付属量なので、運用分は別途御注文下さい。

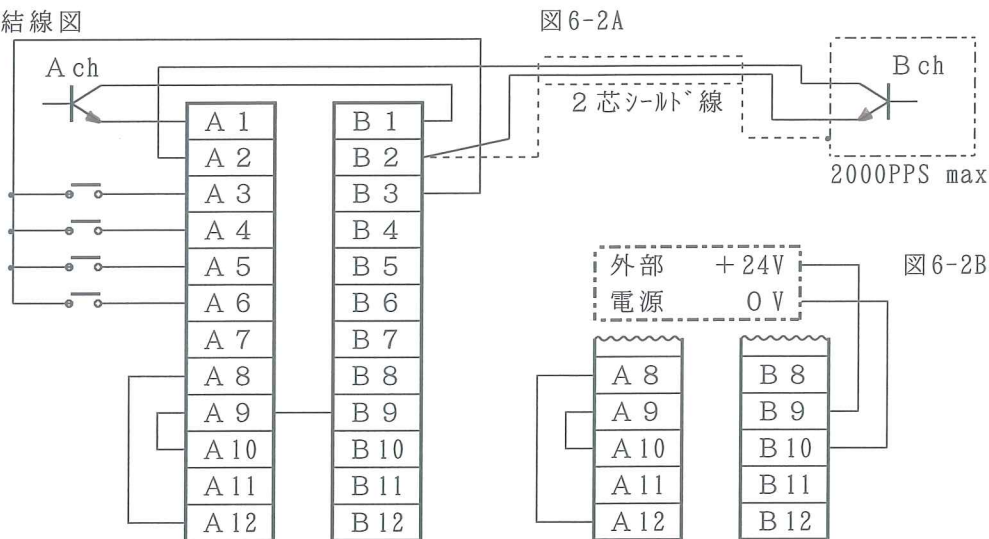
## 6. 端子台

6-1. 信号割当表

端子	内容	端子	内容
A 1	計数パルス入力、A ch(低速)	B 1	0 V コモン
A 2	計数パルス入力、B ch(低速/高速)	B 2	〃
A 3	小計プリント入力	B 3	〃
A 4	日報、月報プリント入力	B 4	〃
A 5	小計、日報、月報リセット入力、A ch	B 5	〃
A 6	小計、日報、月報リセット入力、B ch	B 6	〃
A 7		B 7	〃
A 8	電源同期出力 *1	B 8	〃
A 9	+ 1 2 V出力 *2	B 9	+12V~24V入力 *3
A 10	+ 1 2 V入力 *1	B 10	0 V コモン
A 11		B 11	〃
A 12	電源同期入力 *1	B 12	〃

- \*1: 時計の電源同期用
- \*2: 入力回路用電源出力
- \*3: 入力回路用電源入力

6-2. 結線図



1. 図6-2A: 入力信号とスイッチを結線します。
2. 図6-2B: 信号入力ケーブルが長い等で、4-2.項の入力定格が確保出来ない時は、A 9とB 9間の結線を外し、外部から24V(約50mA)を供給して下さい。
3. 入力B chのカウント周波数を2,000パルス/秒で使用する場合は、雑音混入による誤計数防止のため、図6-2Aの様に2芯シールド線を使用し、できるだけ短く配線して下さい。
4. 電源同期は60Hzに設定して有るので、50Hz電源の時はS2-1をONして下さい。また、自家発電のときはA 8 - A 12間の結線を外して下さい。

## 7. 使用法

7-1. 電源OFFで背面スイッチ SW1、SW2 を設定して下さい。(2-8. 項参照)

7-2. 外部結線

1. AC 100V、又は AC 200Vを供給します。
2. 入力信号を結線します。

7-3. 電源ON時の動作

1. 時計が正常であれば通常の動作を開始します。
2. 電源ONのとき時計の内容が無いとTIME & MEMORY IRREGULAR とプリントし、「00年01月01日00時00分00秒」から歩進します。

この場合は各積算値は0になり、係数等も初期値になるので再設定して下さい。(7-4. 項参照)

7-4. 手動制御スイッチ

7-4-1. スwitchの種類

1. 制御スイッチは図7-4Aで、紙送り(S6)スイッチのみが前面に付いており、他は背面に付いています。

S3 : S4～S6の動作を決定する

測定 = 紙送り等を行なう

設定 = 時刻設定する

S4 : 測定 = 時計の±30秒修正

設定 = +1 カウント

S5 : 測定 = 日時と係数等をプリント

設定 = -1 カウント

S6 : 測定 = 紙送り

設定 = 設定した内容をプリントし、次回の設定に移行する

赤LED = 時計の秒点減表示

2. S3 がどちらになっても、カウント及びプリント/リセット入力による動作をします。



7-4-2. S3 が「測定」時の動作

1. S4 を時報に合わせて押すと±30秒修正し、日時(年～秒)を図7-4Bの様にプリントします。
  - 1) 0～29秒のときは秒リセットのみ、30～59秒のときは秒リセットして分へ桁上げします。
  - 2) 分以上が違う時はS3を「設定」にして合わせます。
2. S5 を押すと、日時と設定してある係数等をプリントします。
3. S6 を押すとプリント用紙を空送りします。

4. スイッチ操作時のプリント例

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

08年10月25日 09時30分00秒 秒ADJ  
 08年10月25日 09時32分46秒  
 Ach K1=2.309 D.P=2  
           K2=10  
 Bch K1=1.000 D.P=1  
           K2=1  
 月ホウ=END 日ホウ=24時00分

図7-4B

- S 4 を押したとき
- S 5 を押したとき
- K1、K2=係数
- O.P=小数の桁数
- 月ホウ：月報のリセット日 \*
- 日ホウ：日報／月報の自動プリントと日報リセット時刻

\*：月報は01～27日、及びEND(月末日)が設定できます。

7-4-3. 時刻設定

1. S 3 を「設定」にし、分、時、日、月、年の順に設定します。
2. 設定例

00年01月01日00時00分 → 08年10月25日09時00分に修正する場合

- ① S 3 を「設定」にした時にプリントする
- ② 分：修正しないため、S 6 を押してプリントする
- ③ 時：S 4 (+1) を9回押し、S 6 を押してプリントする
- ④ 日：S 5 (-1) を7回            "
- ⑤ 月：S 5 (-1) を3回            "
- ⑥ 年：S 4 (+1) を8回            "

3. 時刻設定時のプリント例

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

00年01月01日 00時00分05秒 ツキ`分  
 00年01月01日 00時00分15秒 ツキ`時  
 00年01月01日 09時00分23秒 ツキ`日  
 00年01月25日 09時00分34秒 ツキ`月  
 00年10月25日 09時00分46秒 ツキ`年  
 08年10月25日 09時01分03秒 オワリ  
 Ach K1=1.000 ツキ`ハ 1.00X

図7-4C

- ① S 3 を「設定」にした時にプリントする
- ② 分設定後のプリント
- ③ 時       "
- ④ 日       "
- ⑤ 月       "
- ⑥ 年       "

4. S 6 でプリントすると設定されるので、それ以降を修正しない場合はその時点でS 3 を「測定」にします。

7-4-4. 入力数、係数、小数桁数の設定

1. 入力数：K 1 で選定します。  
     「K 1 = 0.000」を設定すると、その入力は積算及びプリントしません。
2. 係数は年の設定に続いて設定します。時計を設定しないで係数を変更する時はS 3 を「設定」にし、S 6 を5回押ししてプリントすると係数の設定になります。
3. 係数と小数桁数を下記に変更する場合
  - 1) 入力Ach：K 1 = 1.000 → 2.309  
           K 2 = 1 → 10  
           D.P = 0 → 2
  - 2) 入力Bch：変更しない

4. 操作

- ⑥ 年設定後のプリント
- ⑦ S 5 (- 1) を 1 回押し、S 6 を押してプリントする
- ⑧ 変更しないので、S 6 を押してプリントする
- ⑨ S 4 (+ 1) を 3 回押し、S 6 を押してプリントする
- ⑩ S 4 (+ 1) を 1 回押し、S 6 を押してプリントする
- ⑪ S 4 (+ 1) を 1 回(又は S 5 (- 1) を 3 回)押し、S 6 を押してプリントする \* 1
- ⑫ S 4 (+ 1) を 2 回(又は S 5 (- 1) を 2 回)押し、S 6 を押してプリントする \* 2

\* 1 : K 2 は S 4、S 5 を押す毎に下記の様になります。

S 4 (+ 1) : 1、10、100、1000、1、10 . . .

S 5 (- 1) : 1、1000、100、10、1、1000 . . .

\* 2 : D . P は S 4、S 5 を押す毎に下記の様になります。

S 4 (+ 1) : 0、1、2、3、0、1 . . .

S 5 (- 1) : 0、3、2、1、0、3 . . .

- ⑬ 入力 B ch を修正する場合は A ch と同様に操作します。

入力 B ch を修正せず、月報 / 日報の日時を変更する場合は S 6 を 6 回押してプリントします。

5. 係数設定時のプリント例

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

図7-4D

```

08年10月25日 09時01分03秒 オワリ
Ach K1=1.000 ツキ`ハ 1.00X
Ach K1=1.009 ツキ`ハ 1.0X9
Ach K1=1.009 ツキ`ハ 1.X09
Ach K1=1.309 ツキ`ハ X.309
Ach K1=2.309
Ach K2=1 ツキ`ハ K2
Ach K2=10
Ach D.P=0 ツキ`ハ D.P
Ach D.P=2
Bch K1=1.000 ツキ`ハ 1.00X
Bch K1=1.000 ツキ`ハ 1.0X0
Bch K1=1.000 ツキ`ハ 1.X00
Bch K1=1.000 ツキ`ハ X.000
Bch K1=1.000
Bch K2=1 ツキ`ハ K2
Bch K2=1
Bch D.P=1 ツキ`ハ D.P
Bch D.P=1 ツキ`ハ 月、日ホウ
月ホウ=END 日ホウ=24時00分

```

- ⑥ 年設定後のプリント
- ⑦ 10<sup>-3</sup>設定後のプリント Ach
- ⑧ 10<sup>-2</sup> " K 1 = 1.000 → 2.309
- ⑨ 10<sup>-1</sup> " K 2 = 1 → 10
- ⑩ 10<sup>0</sup> " D.P = 0 → 2
- ⑪ K2設定後のプリント
- ⑫ D.P設定後のプリント
- ⑬ Bchは変更しない  
日報 / 月報日時を変更する場合はS6を6回押して  
プリントする

- 6. S 6 でプリントすると設定されるので、それ以降を修正しない場合はその時点で S 3 を「測定」にします。

7. 初期値

納入時と電池保護時間後の係数と小数桁数は下記になります。

K 1 = 1 . 0 0 0

K 2 = 1

D . P = 0

7-4-5. 日報、月報日時の設定

1. 小数桁数の設定に続いて設定します。
2. 月報：01～27日、及びEND(月末日)が設定でき、設定日の自動プリント後に月報をリセットします。  
日報：00時01分～24時00分が設定でき、設定時刻の自動プリント後に日報をリセットします。

3. 設定例

月報：END → 01日

日報：24時00分 → 06時45分

⑬ 小数桁数設定後のプリント

⑭ S5(-1)を15回押し、S6を押してプリントする

⑮ S4(+1)を7回押し、S6を押してプリントする \*1

⑯ S4(+1)を1回押し、S6を押してプリントする \*2

\*1：S4(+1)を押す毎に24、00、01・・・23、24・・・になる

S5(-1)を押す毎に24、23・・・01、00、24・・・になる

24時を設定してプリントすると、自動で24時00分が設定される

\*2：S4(+1)を押す毎に01、02・・・27、END、01、02・・・になる

S5(-1)を押す毎に01、END、27・・・01、END、27・・・になる

4. 設定時のプリント例

.....<sup>2</sup>/<sub>0</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>5</sub>.....<sup>1</sup>/<sub>0</sub>.....5.....

図7-4E

Bch D.P=1	ツキ <sup>ハ</sup> 月、日ホウ
月ホウ=END	日ホウ=24時00分 ツキ <sup>ハ</sup> 分
月ホウ=END	日ホウ=24時45分 ツキ <sup>ハ</sup> 時
月ホウ=END	日ホウ=06時45分 ツキ <sup>ハ</sup> 日
月ホウ=01日	日ホウ=06時45分 オワリ

⑬ D.P設定後のプリント

- ⑭ 分設定後のプリント

- ⑮ 時 //

- ⑯ 日 //

5. S6でプリントすると設定されるので、それ以降を修正しない場合はその時点でS3を「測定」にします。

6. 初期値

納入時と電池保護時間後の日報、月報日時は下記になります。

日報：24時00分

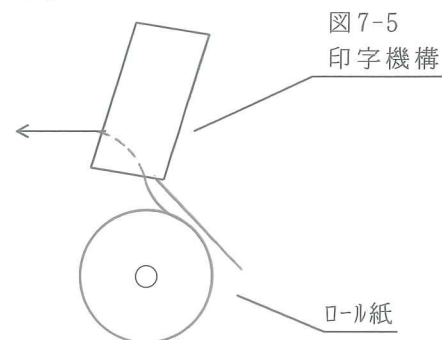
月報：END



7-5. プリント用紙

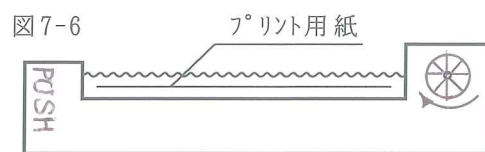
1. プリント用紙の最後 1 m 程度は赤くなっているので、早目に交換して下さい。
2. S3 が測定するとき、ハネ面の紙送りスイッチを押すと紙送りします。
4. プリント用紙の交換

- 1) サブハネを下方向に開きます。
- 2) 紙交換中にプリントする恐れが無いときは、古いロール紙をプリント機構の入口側で切り、ロール紙を外します。  
プリント機構出口から残りの紙を引出し、新しい紙を送り込みます。
- 3) 紙交換中にプリントする恐れが有るときは、紙を入口から 5 cm 程度残して切り、新しい紙を重ねてプリント機構に差込み、古い紙が外れるまで紙送りします。  
こうすると交換中は新旧どちらかの紙にプリントします。



7-6. リボン カセットの交換

1. リボン カセットは PUSH 部分を押すと外れます。
2. プリント用紙はリボンとカセット本体間を通します。
3. 新しいカセットと交換したときはリボン部分に緩みが出るので、丸いローレット部分を矢印方向に廻して緩みを無くして下さい。



7-7. 電池の交換

1. 停電時の保護時間が短くなった時、又は 4 ~ 5 年ごとに交換します。
2. 内部の電池を交換します。  
電池は筐体内部に取付け、コネクタで接続して有るので簡単に交換できます。

